

躍動 SPORTS

2011.11.25発行

山形市体育協会だより

第18号

SPORTS PEAK PERFORMANCE



財団法人 山形市体育協会



2010年11月25日、広州アジア大会にて日本女子バスケットボールチームが銅メダルを獲得。山形出身の大神雄子選手（左写真）は日本チームのPGとして活躍した。

また、男子水球では長沼敦選手が活躍。3位決定戦を勝利し、第3位に入賞した。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、当協会管理施設が被災者の避難所となったため、平成23年3月末発刊予定の『機関紙 躍動 第18号』の発刊が遅れてしまった事をお詫び申し上げます。

「正々堂々」

会長 早坂 孝



平成二十三年という年は、私たちの記憶から拭い去ることのできない特別な年となりました。

あの三・一一「東日本大震災」は、「想定外」といわれる甚大な被害をもたらし、日常生活の混乱を招いた訳ですが、現在でも被災地を中心に未だ混乱が続いている状況下にあります。可能な限り援助の手を差し伸べ一刻も早い復興を願わずにはいられません。

このような状況ではありましたが、スポーツの持つエネルギーの素晴らしさを感じた年でもありました。スポーツへの影響も数多くあり、身近なところでは、私たちの管理する「山形市総合スポーツセンター」、「山形県体育館」は避難所として指定され、多くの皆様に大会スケジュールの見直しや練習会場の確保等でご苦勞をおかけしました。

しかし、私たちはこういった環境のもとでも、ひたむきにプレーする選手たちの姿に元気を与えてもらい、監督や選手、スタッフからでくる自然な笑顔に希望を感じたのです。

私たちスポーツに関わる全ての人々が、どのような状況におかれても「正々堂々」とした立ち振る舞いを行うことが、感動を生み、明日への活力へと変わっていくのだと確信しております。

今年、私たちは「山形市体育協会スポーツクラブ」を立ち上げ、生涯スポーツの振興への新たな取り組みを開始するとともに、加盟団体との連携を強化し、競技力の向上に向けたプログラムの充実を図っていくこととしております。

また、指定管理者としていずれの施設も中間年にあたることから、これまでの業務の検証と再指定に向けた準備を進めていかなくてはなりません。

さらに、公益法人移行期限に向けて、新たな法人として組織見直しや財務上の問題解決など、課題は多岐にわたり、そして皆様に知恵を必要とするものばかりです。

皆様にさらなるご支援とご協力をお願い申し上げ、あいさつとさせていただきます。

(財)山形市体育協会加盟団体 (平成23年3月現在)

- | | | |
|-----------------|--------------------|---------------------|
| 1 山形市中学校体育連盟 | 18 山形地区バドミントン協会 | 35 山形市ボブスレーリージュ連盟 |
| 2 山形地区ソフトテニス連盟 | 19 山形市自転車競技連盟 | 36 山形市スケート協会 |
| 3 山形市体操協会 | 20 山形アマチュアボクシング協会 | 37 山形市アイスホッケー協会 |
| 4 山形市バスケットボール協会 | 21 山形市馬術連盟 | 38 山形市武術太極拳協会 |
| 5 山形地区野球連盟 | 22 山形市テニス協会 | 39 山形県ダンススポーツ連盟山形支部 |
| 6 山形地区バレーボール協会 | 23 山形市アーチェリー協会 | 40 村山地区ハンドボール協会 |
| 7 山形市山岳連盟 | 24 山形市空手道連盟 | 41 山形市スポーツチャンバラ協会 |
| 8 山形市卓球協会 | 25 山形市ライフル射撃協会 | 42 山形市体育振興会連合会 |
| 9 山形市陸上競技協会 | 26 山形市ボウリング協会 | 43 山形市スポーツ少年団本部 |
| 10 山形市弓道連盟 | 27 山形市合気道連盟 | 44 山形市小学校体育連盟 |
| 11 山形市柔道連盟 | 28 山形市ヨット連盟 | 45 山形鍼友会 |
| 12 山形市ソフトボール協会 | 29 山形市ラグビーフットボール協会 | 46 山形市ペタンク協会 |
| 13 山形市レスリング協会 | 30 山形市クレ射撃協会 | 47 山形市トランポリン協会 |
| 14 山形市水泳連盟 | 31 山形市少林寺拳法連盟 | 48 山形市バウンドテニス協会 |
| 15 山形市サッカー協会 | 32 山形市フェンシング協会 | 49 山形市エアロビク協会 |
| 16 山形市スキー連盟 | 33 山形市なぎなた協会 | 50 山形市カーリング協会 |
| 17 山形市剣道連盟 | 34 山形市ゲートボール協会 | |

【平成22年度 財団法人山形市体育協会事業報告書】

平成20年に策定した新体育協会が掲げる基本方針のもとで「明るく健康で活力ある生涯スポーツ社会の実現」に向けて各種事業を展開しました。

また、3月11日に発生した東日本大震災に対応し、山形市総合スポーツセンター及び山形県体育館が避難所としての機能を果たすことになったため、当協会もできる限りの支援と協力を行ったところです。

概要は、以下のとおりです。

1. 地域スポーツ振興事業

(1)総合型地域スポーツクラブ創設と運営支援

①設立を検討している地域団体に対する相談・資料提供等を行うとともに、生涯地域スポーツ委員会において、今後の方向性や手順についての検討を進めました。

②「施設型の総合型地域スポーツクラブ」を当協会が主体となって進めるため、設立準備委員会を平成22年12月から4回にわたり開催しました。

③スポーツを通じた地域活性化のため、共催事業として依頼のあった地区を対象に講師を紹介するとともに支援しました。

ア. 工藤公康野球教室

- ・期 日：平成23年2月5日(土)
- ・場 所：市立本沢小学校体育館
- ・参加者：野球教室 39名 小学校創立記念講演会 250名

イ. 「ほなみふれあいスポーツクラブ」に対する支援

- フライトネス教室への講師派遣
 - ・期 日：平成22年12月7日(火)～平成23年2月15日(火) 計9回
 - ・場 所：金井公民館
- 金井地区ウォーキングマップ作製に対する支援

(2)スポーツ教室の開催推進

①地域スポーツ振興事業に関する各種スポーツ教室の実施

健康づくりや子どもの体力向上とスポーツの普及を目的とした17種目27教室を延べ160回開催し、1,160名の募集定員に対して、参加者1,007名(延べ参加者数：4,745名)を得て実施しました。

②指定管理施設を活用したスポーツ教室の実施

スポーツセンター等の設置目的である市民の健康増進、スポーツ及びレクリエーションの推進を図るとともに、「施設型の総合型地域スポーツクラブ」の創設に向けたプログラムとして、14種目18教室のスポーツ教室等を延べ459回開催し、募集定員540名に対して421名(延べ参加者数：7,439名)の参加者をもって実施しました。

(3)地域スポーツ・レクリエーション活動に対しての支援

地域や小学校放課後活動への指導者派遣について要請があった21件について、職員を派遣した。また、地域活動に対してスポーツ用具の貸出(120件)を実施しました。

2. 競技スポーツ振興事業

競技スポーツ振興のため、育成強化費の交付や指導力及び競技力向上のための研修会等を開催するとともに、関係団体と連携した強化事業を実施しました。

(1)育成強化費交付

50の加盟団体に対して20,000円を交付。

(2)研修会の開催

①財団法人日本体育協会公認スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員講習会を開催しました。

②ヒューマンスキルアップミート(知的能力開発プログラムの講習)を「中学生、中学校部活顧問、指導者対象」と「スポーツ少年団団員、指導者対象」にそれぞれ開催しました。

(3)関係団体と連携した強化事業

①強化を目的としたスポーツクリニック事業を、「バスケットボール」と「エアロビック」の2競技で開催しました。

②山形市体育・スポーツ総合推進本部の「マルチサポート事業」に連携しながら、本市駅伝チームの強化プログラムを実施しました。

3. ジュニアスポーツ振興事業

山形市スポーツ少年団の育成・普及、と指導者育成に関する事業を実施しました。

(1)第25回山形市スポーツ少年団総合大会を夏季大会7種目(サッカー、バレーボール、軟式野球、バスケットボール、剣道、柔道、空手道)、冬季大会としてスキー大会をそれぞれ開催しました。

(2)スポーツ少年団認定員講習会兼財団法人日本体育協会公認スポーツリーダー養成講習会を、20歳以上のスポーツ指導者・スポーツ少年団指導者を対象に、開催しました。

(3)スポーツ少年団体力測定を春と秋にそれぞれ開催しました。

(4)山形市スポーツ少年団奨励事業として、全国大会に出場する団体に対して激励金を交付しました。

(5)スポーツ少年団指導者連絡協議会に対して、助成を行いました。

4. スポーツ医科学相談事業

健康づくり・体力づくりを推進するために、山形市総合スポーツセンターにおいて体力測定結果に基づく医科学相談事業を実施しました。

5. 各種大会等への支援事業

山形市や実行委員会等が実施する各種大会等に対して支援を行いました。

(1)山形市民スポーツフェスタ

(2)第65回国民体育大会・第10回全国障害者スポーツ大会杜行激励会

(3)第30回府走ロードレース大会

(4)平成22年度山形市少年スキージャンプ教室

(5)第23回国際歳王ジャンプ大会

(6)市民登山

6. 指導者の育成と指導者バンクの活用事業

スポーツ指導者の育成を目的として、財団法人日本体育協会公認スポーツリーダー養成講習会を開催するとともに、指導者バンクの充実と活用に努めました。

7. 自主事業

スケートの普及・振興を図るため、山形市総合スポーツセンタースケート場を会場に「氷上フェスティバル」を開催しました。

8. 情報提供事業

(1)機関誌「躍動」の発行

(2)広報誌「エンジョイスポート」

(3)ホームページの充実と活用

(4)施設予約システムの活用

(5)「広報やまがた」の活用

(6)その他

スポーツに関する資料収集と提供、10周年記念誌発刊のための資料収集を実施しました。

9. スポーツ顕彰事業

当協会表彰規程に基づく顕彰事業を行いました。

①功労賞 7名

②敢闘賞 個人373名(小学校208名、中学校109名、高校16名、一般40名) 団体5団体

③特別賞 2名

④感謝状 1名・1団体

10. スポーツ施設等の管理・運営に関する事業

(1)以下の施設の管理運営を行いました。3月11日の東日本大震災の発生に伴い、山形市総合スポーツセンターでは3月15日から、県体育館は3月18日から避難施設として避難者の受入を行ってまいりました。

①指定管理施設

山形市総合スポーツセンター・山形市南部体育館・山形市江南体育館・山形市福祉体育館・山形市みなみ市民プール・山形市北市民プール・山形市流通センター野球場・山形市ソフトボール場・山形市西部運動広場・山形市立谷川運動広場・山形市鋳物町運動広場・山形市陸上競技場・山形市流通センター庭球場・山形市西部庭球場・山形市鋳物町庭球場・山形市弓道場・山形県体育館・山形県武道館

②その他の施設

山形市立第一小学校屋内プール・沼の辺体育館・山形市野球場・山形市スポーツ会館

(2)施設設備維持管理状況

施設設備の維持管理については、安全性、快適性及び清潔性を保持するとともに、省エネルギー等経費節減に努め、また必要な修繕を行いました。

また、省エネルギー関係対策として、省エネルギータイプの照明灯に変更するとともに、デマンド監視装置を設置して、消費電力の削減に向けた取組を行いました。

(3)利用者との協働によるサービス向上を目指して、運営ワークショップ(利用者協議会)を開催し、利用者の直接の声を伺いました。

また、利用者満足度調査を実施し、意見等を参考に改善を図ってまいりました。

(4)施設利用者の中から、施設や事業の運営に協力していただける方による「体育協会ボランティア」を発足させ、利用者の視点にたった運営や施設の改善を行いました。

(5)安全管理への取り組み

①職員及び関係者を対象とした「救急救命セミナー」を開催し、日本赤十字救急法指導員の資格を取得しました。

②職員及び関係者を対象とした総合防災訓練を、山形市総合スポーツセンター、山形県体育館でそれぞれ開催し、山形市消防本部職員からの指導を受けながら、施設の安全管理に取り組みしました。

11. 関係団体運営事業

(1)東南村山地区体育協会連絡協議会

(2)山形市スポーツ少年団

霞城ライオンズクラブと協働し、スポーツ少年団のボランティア活動として、平成22年9月18日(土)に、馬見ヶ崎川河川敷の清掃活動を534名の参加者を得て実施しました。

(3)山形市レクリエーション協会

(4)山形県体育施設協会

(5)山形県立武道館協議会

財団法人日本武道館との共催で、中央講師を迎えて錬成大会を開催しました。

12. その他

(1)賛助会員制度の拡充に努めました。

(2)公益法人制度改革に対応するため、「公益財団」、「一般財団」の選択に向けて調査研究を行いました。

(3)その他

①モンテディオ山形に対する支援活動を山形市ともに実施しました。

②「ヒルズサンビースケート場」の存続について、山形県体育協会をはじめとする関係団体と連携し取り組みました。

山形市体育協会イベント・講習会報告

平成二十二年度の(財)山形市体育協会事業は、三月十一日に発生した東日本大震災の対応のために、スポーツ教室等の事業を最後まで続けることができず参加者の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。

平成二十二年度は市民がスポーツ活動を継続化・習慣化出来るような事業を展開してきました。その結果一、六二一名という多くの方々にご参加いただき、延べ一万二千人を超える参加をいただきました。

また、加盟団体の強化を目的とした事業や各種講演会等の実施など、(財)山形市体育協会としての強化事業を進めたことにより、(財)山形市体育協会としての普及事業と強化事業の二つの柱を構築してきました。

平成二十三年度の大きな取り組みの一つとして、八月に山形市の体育施設を中心とした総合型地域スポーツクラブ「山形市体育協会スポーツクラブ」を設立します。このクラブでは、子どもから高齢者までの健康づくりや競技力の向上などの多種多様なプログラムで市民の皆様のスポーツライフをバックアップしていきたいと考えております。

平成二十二年度主な事業

一、スポーツ教室の開催

キッズスイミングスクール 等
三十一種目四十五回
(延べ参加者数二二、一八四名)

二、競技スポーツ振興

スポーツクリニック事業 等
年間六回の開催
(延べ参加者数三九五名)

三、ジュニアスポーツ振興

山形市スポーツ少年団の育成・普及
年間八回の開催
(延べ参加者数二、四六二名)

四、各種大会等への支援

- 山形市民スポーツフェスタ
- 第六十五回国民体育大会
- 第十回全国障害者スポーツ大会激励会
- 第三十回走ロードレース
- 山形市少年スキージャンプ教室
- 国際蔵王ジャンプ大会
- 市民登山

五、自主事業

氷上フェスティバル
(参加者数五一八名)

たくさんのご参加ありがとうございました。



各種大会記録(平成22年1月～12月まで)

大会名	競技名	氏名	所 属	種 目	順位
W杯オランダ	スピードスケート	加藤 条治	日本電産サンキョー	男子500m	1
W杯(中国) 1日目	スピードスケート	加藤 条治	日本電産サンキョー	男子500m	2
バンクーバー冬期五輪	スピードスケート	加藤 条治	日本電産サンキョー・山形中央高	男子スピードスケート	3
アジアジュニア選手権大会	バレーボール	山上 彩	山形商業高	女子バレーボール	3
W杯(日本・帯広)	スピードスケート	加藤 条治	日本電産サンキョー	男子500m	4
世界選手権代表選考会	新体操	三 沢 樹知	山形RG・東女体大	女子個人総合	5
U-17世界選手権(フランス)	バスケットボール	大 沼 美 琴	山形商業高	女子バスケットボール	5
世界学生選手権大会(イタリア)	スピードスケート	須 波 正 樹	日大・山形商業高	男子フリースタイル55キ口級	5
W杯(中国) 2日目	スピードスケート	加藤 条治	日本電産サンキョー	男子500m	6
W杯(オランダ)	スピードスケート	志 波 正 樹	ジャパンファクトリー 南高校出	男子パラレル回転	11
W杯(ドイツ)	スピードスケート	小 田 卓 朗	山形中央高	男子1500mBクラス	15
W杯(ノルエー)	スピードスケート	小 田 卓 朗	山形中央高	男子1500mBクラス	15
W杯(フランス) 2日目	スキークロス	滝 沢 宏 臣	トニータイヤ・山形中央出	男子フリースタイル	21
W杯(カナダ)	スキークロス	滝 沢 宏 臣	トニータイヤ・山形中央出	男子フリースタイル	26
W杯(ニューヨーク州)	スキークロス	滝 沢 宏 臣	トニータイヤ・山形中央出	男子フリースタイル	27
バンクーバー冬期五輪	フリースタイルスキー	滝 沢 宏 臣	トニータイヤ・山形中央出	男子スキークロス	29
W杯イタリア	スノーボード	志 波 正 樹	ジャパンファクトリー 南高校出	パラレル大回転	29
W杯(オーストリア)	スキークロス	滝 沢 宏 臣	トニータイヤ・山形中央出	男子フリースタイル	34
FSスキー W杯 スキークロス(スペイン)	フリースタイルスキー	滝 沢 宏 臣	トニータイヤ・山形中央出	男子スキークロス	47
W杯(フランス) 1日目	スキークロス	滝 沢 宏 臣	トニータイヤ・山形中央出	男子フリースタイル	55
広洲アジア大会	シッティングバレー	栗 野 幸智恵	東北芸工大	女子シッティングバレー	2
	バスケットボール	大 神 雄 子	JX	女子バスケットボール	3
	水球	長 沼 敦	ベーチ・山形工業高	男子水球	3
	ボウリング	大 石 奈 緒	マルキ	女子5人チーム戦	6
	ボウリング	大 石 奈 緒	マルキ	女子トリオ	13
	ボウリング	大 石 奈 緒	マルキ	女子ダブルス	17
	ボウリング	大 石 奈 緒	マルキ	女子シングル	51
	ボウリング	越 後 拓 真	名古屋大・山本学園高	男子ダブルス	3
	ボウリング	越 後 拓 真	名古屋大・山本学園高	男子トリオ	3
	ボウリング	越 後 拓 真	名古屋大・山本学園高	男子5人チーム戦	3
東アジアパシフィック選手権大会	ボウリング	越 後 拓 真	名古屋大・山本学園高	男子オールイベント	4
	スキー	山 科 博 史	天元台レーシングクラブ	男子回転	1
	スキー	伊 東 道 子	日大山形高校	女子回転	1
	スキー	生 田 康 宏	東京美装・日大山形出	男子回転	1
	スノーボード	志 波 正 樹	ジャパンファクトリー 南高校出	パラレル大回転	1
	スピードスケート	小 田 卓 朗	山形中央高	男子1500m	1
	バスケットボール	大 神 雄 子	JOMO	女子バスケットボール	1
	バスケットボール	大 神 雄 子	山形銀行	女子バスケットボール	1
	バスケットボール	大 神 雄 子	山形銀行	女子バスケットボール	1
	レスリング	大 場 雅 志	山形商業高校	男子フリースタイル45キ口級	1
蔵王ライザスラローム大会	陸上	三 井 泰 樹	山形東高	ジュニア男子6000m	1
	陸上	石 山 真紀子	東北福祉大・山形城北高	女子3000m障害	1
	新体操	三 沢 樹 知	東女体大・山形城北出	新体操	1
	ジュニアオリンピックカップ	高 橋 皆 斗	山形八中	少年男子B100m	1
	第3回全日本ユース(U-15)水球競技選手権	水球	山形選抜	女子水球	1
	第59回全国高校スキー大会	スキー	深 瀬 和 志	男子回転	2
	全日本距離別選手権大会	スピードスケート	加藤 条治	男子500m	2
	第30回全日本学生スピードスケート選手権大会	スピードスケート	堂 下 貴 章	男子1500m	2
	第63回全国高校総合体育大会	水球	山形工業高校	水球 男子	2
	第63回全国高校総合体育大会	水球	山形工業高校	水球 男子	2
全日本社会人レスリング	レスリング	尾 形 翼	山形クラブ	男子個人グレコローマンスタイル	3
	スピードスケート	小 田 卓 朗	山形中央高校	男子1500m	3
	スピードスケート	小 田 卓 朗	山形中央高校	男子500m	3
	競泳	渡 辺 耶 唯	日大山形高	女子200mバタフライ	3
	レスリング	杉 本 恵	早稲田大・山形商業高	女子51キ口級	3
	レスリング	山 形 ク ラ ブ		男子団体クラブ対抗	3
	陸上	千 葉 優 人	山形東高	男子400m障害	3
	競泳	渡 辺 耶 唯	日大山形	女子200mバタフライ	3
	スキー	長 沢 隆 幸	山形中央高校	男子回転	4
	スキー	深 瀬 和 志	日大山形高校	男子スパー大回転	4
全国高校選抜大会	スピードスケート	森 永 一 帆	明大・山形中央高	男子2000mリレー	4
	スピードスケート	小 田 卓 朗	山形中央高校	総合	4
	スピードスケート	加藤 条治	日本電産サンキョー	男子500m	4
	競泳	渡 辺 耶 唯	日大山形高	女子200mバタフライ	4
	新体操	三 沢 樹 知	東女体大・山形城北出	女子個人総合	4
	スキー	伊 東 道 子	日大山形高校	女子スパー大回転	5
	バレーボール	山 形 商 業 高 校		女子バレーボール	5
	柔道	今 野 大 樹	東海大山形	男子個人100キ口超級	5
	スキー	一ノ本 智 毅	日大山形高校	男子回転	6
	スピードスケート	堂 下 貴 章	信州大・山形中央高	男子500m	6
第30回全日本学生スピードスケート選手権大会	スピードスケート	森 永 一 帆	早大・山形中央高	男子1000m	6
	スピードスケート	小 田 卓 朗	山形中央高校	男子1000m	7
	競泳	渡 辺 耶 唯	日大山形高	女子100mバタフライ	8
	スピードスケート	小 田 卓 朗	山形中央高	男子1500m	8
	バスケットボール	山 形 大 学		女子バスケットボール	8
	水球	山 形 選 抜		男子水球	8
	スピードスケート	小 田 卓 朗	山形中央高校	男子3000m	9
	スキー	清 野 高 悠	山形中央高	男子回転	9
	新体操	庄 司 七 瀬	山形RG・東女体大	女子個人総合	10
	スキー	平 野 一 瀬	山形中央高	女子回転	12
阿寒スラロームスキー大会	新体操	庄 司 七 瀬	東女体大・山形城北出	女子個人総合	12
	スキー	松 下 紗 英	山形中央高	女子回転	21
	陸上	山 形 県 選 抜		女子駅伝	24
	スキー	宮 田 順 平	山形中央高	男子回転	25
	スピードスケート	小 田 卓 朗	山形中央高校	少年男子1500m	1
	スピードスケート	小 田 卓 朗	山形中央高校	少年男子1000m	1
	スピードスケート	中尾光社・大泉嘉太郎 吉田健太・小田卓朗	山形県選抜	少年男子2000mリレー	5
	スキー	山 科 博 史	丸光建設工業	大回転成年男子A	5
	スキー	一ノ本 智 毅	日大山形高校	少年男子大回転	6
	スピードスケート	阿 部 小 春	山形中央高校	少年女子3000m	8
第65回国民体育大会(冬季大会)	レスリング	尾 形 翼	山形県協会・山形商業高	成年グレコローマンスタイル55キ口級	2
	バスケットボール	佐藤舞・佐藤恵美 渡部結子	山形銀行 県選抜	成年女子バスケットボール	3
	柔道	佐藤舞・佐藤恵美 渡部結子	県選抜	成年女子	5
	レスリング	須 藤 学	日大・山形商業高	成年フリースタイル60キ口級	5
	レスリング	武 田 祥 己	山形商業高	少年フリースタイル120キ口級	5
	ボクシング	八 鉢 圭 祐	日大・山形南高	成年ウェルター級	5
	レスリング	佐 藤 政 希	山形商業高	成年グレコローマンスタイル50キ口級	5
	馬術	丹 野 里 香	日大山形高	少年スピードアンドハンディネス	7
	バレーボール	県選抜		少年女子バレーボール	7
	自転車	村 上 純 平	シマノ・山形電波工高	成年男子個人ロードレース	7
第10回全国障害者スポーツ大会	水球	山 形 工 業		男子水球	8
	競泳	渡 辺 耶 唯	日大山形	少年女子A200mバタフライ	8
	水球	山 形 工 業 高 校		男子水球	8
	陸上	工 藤 英 士		ジャベリックスロー	3
	フライングディスク	奥 山 雄 太		ディスタンス メンズ・スタンディング	3
	フライングディスク	佐 藤 俊 輔		ディスタンス メンズ・スタンディング	3
	陸上	皆 川 拓 洋		100m	4
	水泳	関 東 東 真 望		25m自由形	4
	水泳	関 東 東 真 望		50m自由形	4
	フライングディスク	佐 藤 俊 輔		アキュラシー ディスリート・セブン	5
第65回国民体育大会	陸上	工 藤 英 士		立幅跳	6
	陸上	皆 川 拓 洋		200m	7
	陸上	皆 川 拓 洋		4×100mリレー	7
	フライングディスク	奥 山 雄 太		アキュラシー ディスリート・セブン	8
第10回全国障害者スポーツ大会	フライングディスク	奥 山 雄 太		アキュラシー ディスリート・セブン	8

頂点

PEAK

木村 潤一
Kimura Jyunichi

常勝集団をめざして

「べにばな国体」にむけて、昭和六十二年にジュニア（中学男子）の水球がスタートして、今年で二十四年。この間に全国大会優勝が中学男子二回、中学女子六回、小学生三回という結果を残してきた。強化が実り成果が現れはじめたのは「べにばな国体」後である。地元山形で開催された全国大会で中学女子が初優勝。そこから毎年入賞する事になる。これは私一人の力ではなく、指導スタッフによる小・中連携の賜です。



また、保護者の協力、合宿遠征等での支援、大会での大応援。そして、忘れてならないのが高校生の協力です。常に胸を借りることのできる環境が一つの強化に繋がった。このように恵まれた環境により、山形の水球が常勝集団に近づいた。これまでの戦いを振り返ってみると、各カテゴリーに共通することがある。それは、「粘り強さ」だ。

その中でも、中学男子の二回の優勝は「それ」を表するものである。

初優勝の時の初戦、地元岡山とシーソーゲーム。終了間際、ペナルティーを取られ絶体絶命のピンチ。GKがこれを好セーブし、逆転勝ち。準々決勝、準決勝では攻防の連続、失敗しても諦めず最後まで戦い抜いた。決勝では、二点のリードを追いついで延長サドンドス。最初の攻撃でVゴールを決めて初優勝となった。二回目の優勝も、予選リーグで接戦をものに、ブロック二位で決勝トーナメントに。準決勝では、試合終了のブザーと同時にゴールイン。同点となり、延長サドンドス。この時も最初の攻撃でVゴールで勝利した。決勝も試合終了一分前で二点リードされ、試合終了数秒前に同点に追いつき延長サドンドスとなった。延長では、四分もの長い攻防の末Vゴールで優勝を決めた。このように、どんなに厳しくても苦しくても諦めない泥臭い水球が我々のスタイルである。これからも全ては自分達の「心」が決めるということを子供達に伝えていきたいと思っています。今後山形の水球に大きな声援を宜しくお願いします。



指導成績

年度	大会名	会場	中学男子	中学女子
平成3年	第14回全国JOC夏季大会	大宮		第2位
平成7年	第18回全国JOC夏季大会	倉敷		第4位
平成8年	第18回全国JOC春季大会	東京		第4位
平成9年	第19回全国JOC夏季大会	山形		優勝
平成10年	第19回全国JOC春季大会	東京		優勝
平成11年	第20回全国JOC夏季大会	大宮		優勝
平成12年	第20回全国JOC春季大会	東京		優勝
平成13年	第21回全国JOC夏季大会	大宮		優勝
平成14年	第22回全国JOC夏季大会	平塚	第2位	第2位
平成15年	第22回全国JOC春季大会	東京	第2位	第2位
平成16年	第23回全国JOC夏季大会	大宮	第2位	第2位
平成17年	第23回全国JOC春季大会	東京	第2位	第2位
平成18年	第24回全国JOC夏季大会	前橋	第3位	第3位
平成19年	第24回全国JOC春季大会	東京	第3位	第3位
平成20年	第25回全国JOC夏季大会	川口	第3位	第3位
平成21年	第25回全国JOC春季大会	東京	第3位	第3位
平成22年	第26回全国JOC夏季大会	前橋	第3位	第3位
平成23年	第26回全国JOC春季大会	東京	第3位	第3位
平成24年	第27回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成25年	第27回全国JOC春季大会	千葉	第2位	第2位
平成26年	第28回全国JOC夏季大会	千葉	第3位	第3位
平成27年	第28回全国JOC春季大会	千葉	第3位	第3位
平成28年	第29回全国JOC夏季大会	千葉	優勝	優勝
平成29年	第29回全国JOC春季大会	千葉	優勝	優勝
平成30年	第30回全国JOC夏季大会	千葉	優勝	優勝
平成31年	第30回全国JOC春季大会	千葉	優勝	優勝
平成32年	第31回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成33年	第31回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成34年	第32回全国JOC夏季大会	千葉	第2位	第2位
平成35年	第32回全国JOC春季大会	千葉	第2位	第2位
平成36年	第33回全国JOC夏季大会	千葉	第2位	第2位
平成37年	第33回全国JOC春季大会	千葉	第2位	第2位
平成38年	第34回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成39年	第34回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成40年	第35回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成41年	第35回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成42年	第36回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成43年	第36回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成44年	第37回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成45年	第37回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成46年	第38回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成47年	第38回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成48年	第39回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成49年	第39回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成50年	第40回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成51年	第40回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成52年	第41回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成53年	第41回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成54年	第42回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成55年	第42回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成56年	第43回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成57年	第43回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成58年	第44回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成59年	第44回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成60年	第45回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成61年	第45回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成62年	第46回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成63年	第46回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成64年	第47回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成65年	第47回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成66年	第48回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成67年	第48回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成68年	第49回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成69年	第49回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成70年	第50回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成71年	第50回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成72年	第51回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成73年	第51回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成74年	第52回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成75年	第52回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成76年	第53回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成77年	第53回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成78年	第54回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成79年	第54回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成80年	第55回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成81年	第55回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成82年	第56回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成83年	第56回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成84年	第57回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成85年	第57回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成86年	第58回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成87年	第58回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成88年	第59回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成89年	第59回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成90年	第60回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成91年	第60回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成92年	第61回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成93年	第61回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成94年	第62回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成95年	第62回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成96年	第63回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成97年	第63回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成98年	第64回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成99年	第64回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成100年	第65回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成101年	第65回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成102年	第66回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成103年	第66回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成104年	第67回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成105年	第67回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成106年	第68回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成107年	第68回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成108年	第69回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成109年	第69回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成110年	第70回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成111年	第70回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成112年	第71回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成113年	第71回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成114年	第72回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成115年	第72回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成116年	第73回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成117年	第73回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成118年	第74回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成119年	第74回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成120年	第75回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成121年	第75回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成122年	第76回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成123年	第76回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成124年	第77回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成125年	第77回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成126年	第78回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成127年	第78回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成128年	第79回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成129年	第79回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成130年	第80回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成131年	第80回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成132年	第81回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成133年	第81回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成134年	第82回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成135年	第82回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成136年	第83回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成137年	第83回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成138年	第84回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成139年	第84回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成140年	第85回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成141年	第85回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成142年	第86回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成143年	第86回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成144年	第87回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成145年	第87回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成146年	第88回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成147年	第88回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成148年	第89回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成149年	第89回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成150年	第90回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成151年	第90回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成152年	第91回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成153年	第91回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成154年	第92回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成155年	第92回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成156年	第93回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成157年	第93回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成158年	第94回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成159年	第94回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成160年	第95回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成161年	第95回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成162年	第96回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成163年	第96回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成164年	第97回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成165年	第97回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成166年	第98回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成167年	第98回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成168年	第99回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成169年	第99回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位
平成170年	第100回全国JOC夏季大会	大阪	第2位	第2位
平成171年	第100回全国JOC春季大会	大阪	第2位	第2位

※大会名（正式名称）
○全国JOCジュニアオリンピックカップ夏・春季水泳競技大会
○全日本ユース（U-15）水球競技選手権大会

輝かしき記録に想う



下段 左から2番目

アジア選手権を経験して

アジアジュニア選手権大会 第三位

筑波大学・山形商業高卒 山上 彩

昨年九月にベトナムで行われたアジアジュニア女子選手権に、日本代表として出場してきました。前回と同じメンバーで挑んだアジアユース女子選手権での優勝という結果もあり、今回の大会でも優勝したいという強い思いを胸にチーム全員で試合に臨みました。一つ試合を終える度に課題を見つけ一人一人がチームに貢献できるよう練習する。それを繰り返すことでチームにまとまりができました。しかし結果は、予選の

時ストレートで下した韓国に準決勝で敗退し、第三位という悔しいものとなり、「勝つ」ということの難しさを改めて感じさせられるものとなりました。

アジア選手権という高いレベルでプレーをして、「勝ち」や「負け」を経験できたことは自分自身にとってかけがえのないものとなり、またこれからバレーボールをしていくうえで技術面や精神面に生かせるようなものとなりました。この経験を無駄にしないように努力を続けていきたいと思っています。

今回私がこのような経験ができたのは、たくさんの人の支えや応援・家族や仲間の存在があったからです。新しい環境でも、自分一人の力だけでなく、たくさんの人に支えられてバレーボールができるということを忘れず、感謝の気持ちを持って頑張りたいと思います。また、七月には世界選手権が開催されます。アジア選手権での「負け」から学んだことを生かして「勝ち」につなげられるよう、確実に力をつけていきたいと思っています。

(※この原稿は五月に提出して頂いた原稿です。)

U17世界選手権

女子バスケットボール 第五位

山形商業高校 大沼 美琴



フランスで開催されたU17世界選手権に出場して、日本では歴代最高の五位という成績を残すことが出来ました。

この大会でコートに立つことが何回もあり、その中のベルギー戦で初めてスタートでコートに立ちました。緊張からか何も出来ず終わってしまい、自分の未熟さを感じました。最終試合の五位決定戦でチャンスをもたらす、自分の役割りであるディフェンス、リバウンド、走ることを頑張り、最後のホイッスルが鳴るまでコートに立つことができ、嬉しさで感動で涙が止まりませんでした。どの試合も最初から日本を応援してくれる人が少なく完全アウェイの状態でしたが、試合が進むにつれ「JAPAN」コールが会場いっぱいになり響き渡り拍手で声援を送ってくれる人が増えたことが、とても印象に残っています。

日本代表に入って、控え選手の役割りの大変さと大切さ、ベンチメンバーがどんな思いでいるのか、などプレー以外にもたくさん学ぶことがありました。また、国際大会を経験して食べ物や水の大切さを改めて感じました。こうして日本代表に選出されたのは、たくさんの先生方、家族のみんなのおかげです。

これからのチームの目標は「全国制覇」です。その為には、自立・大人のチームになることが大切になると思います。チーム全員が高い意識を持ち、一日一日を無駄にしないように練習していきます。感謝・思いやりの気持ちを忘れず、たくさんの方々から応援してもらえそうなチームを目指して、頑張っていきたいと思います。



輝かしき記録に想う

全国高校選抜スキー大会

男子回転 優勝

「やっと、優勝できた」

これがゴールして電光掲示板が出たときの僕の思いです。思えばこの瞬間を胸に描き、僕は日本大学山形高校に進学したのです。

両親はスキーの強い北海道の高校に進学してスキーを続けるものと思っていました。でも僕は全国で闘える選手になりたいと思っていました。だから自分に合ったトレーニングをしていきかったので山形でスキーを続けることにしました。

しかし入学してトレーニングをしてみると自分と周りの人との差に驚きました。練習メニューを全部こなすことができないのです。それなのに周りの人は部活のほかに自主練をしているのです。「こんなはずじゃなかった」僕の夢は空想だったのかと、とてもみじめな気持ちになりました。そんなモヤモヤした気持ちのまま夏休みに海外遠征に参加してそれなりに頑張ったつもりでいたのですが、初心を忘れてしまったのです。いまこうして努力しているような自分ではないのだと思ってしまったのです。

山形にもどって部活の仲間と話していた時でした。みんなはスキー部の夏場のトレーニングがとても辛かったこと。それを頑張り抜いたことに誇りを持っていました。そのキラキラした顔をみていたら「僕は逃げていた」ということに気付きました。

日本大学山形高校 深瀬和志

中学の時に自分に誓った夢、両親に通したわがまま、「このままではいけない、このままじゃダメだ」僕は初めて自分を恥ずかしく思いました。「全国で闘える選手になりたい」と

打ち明けた僕に「夢は大きく、志は高く」と言って送り出してくれた両親の顔が浮かびました。それからは何も考えず全力でやりました。そして一年生の時二冠を目標に迎えたインターハイでは片方は途中棄権、もう片方は二位だったものの同学年に負けてとても悔しい思いをしました。高校選抜こそは絶対に優勝すると誓いました。そして迎えた高校選抜の日三種目あるなか最初の二種目を小さいミスで優勝を逃してしまいました。残るは一種目朝から不安要素がなく自信を持ってスタートバーを切れるために「ほかの選手よりもアツプをしよう。技術では劣るかもしれないが気持ちではだれにも負けない」という気持ちで大会に臨みました。そしてそうゆう気持ちでスタートに立つたら全然緊張せずいつも以上にリラックスしてスタートバーを切るころができました。

そして優勝することができました。今年勝ちとれた優勝は先生方や仲間たちがいたから成り立ったのだと強く感じました。

本当に僕の周りの人々・環境に感謝しています。

千葉国体を通して

少年スピードアンドハンディネス 第七位

日本大学山形高校卒業 丹野里香

去年の千葉国体では高校生活最後の年だったので、三年間の締めくくりとしてなんとしても入賞することを目指していたのですが、一番初めに走行して少年ダービー競技では百分の一秒差で惜しくも入賞を逃してしまいました。この競技は馬の性質から最も狙いやすい競技だったため、非常に悔しい思いをしました。

馬は朝が早い生き物なので、練習に行くのも夏場は五時前、冬でも六時と一年を通して朝ゆっくり寝てられる日は一度もなく、その辛さから何度か挫折しかけたこともありました。その都度、周りの人や何よりコンビを組んだ愛馬の揺るぎない目に癒され、踏みとどまって来れました。その集大成の本当に最後のチャンス

だったからこそ、自分にも頑張ってくれた愛馬にもご褒美をあげたい、それが入賞することだったのです。

第一競技で後のない私に残されたのは、一番花形種目でそれ故入賞の厳しいスピードアンドハンディネスという競技でした。最初の種目の悔しさを跳ね返せるよう、今までの思いをすべて込めて一つ一つの障害を飛んで行きました。結果は七位入賞でした。この瞬間のうれしさは、今までの辛かったことをすべて吹き消してくれました。

この国体を通してスポーツであれ勉強であれ、なにかをやり通すには強い意志をもって前進あるのみだと私は思います。馬術を続けるにあたって、コーチの方々、先生、そして



両親には並々ならぬサポートをしていただきました。今、私は馬術によって大学に進み学生戦を目指しています。高校で培った精神力をもとに国体同様、自分の集大成を出せる四年間を悔いなく過ごしたいと思っています。

● 加盟団体の紹介 ●

山形市ヨット連盟

理事長 逸見嘉徳

山形市（市民）におけるセーリング（帆走）は昭和四十二年頃に、山形市在住の愛好家数人が鼠ヶ関でディンギーを楽しんだことから始まった。その後すぐに昭和四十六年の山形県ヨット連盟の設立に参加した。初代会長に現市連会長の伊藤剛の父であり、自身がヨットを所有していた伊藤高が就任した。その後山形市のメンバーが中心となって活動をするも、活動の水域は、酒田、加茂鼠ヶ関など沿岸に限られ、殆ど庄内での催しであった。べにばな国体の機運も高まってきた、昭和五十四年に山形市ヨット連盟を設立、すぐに山形市体育協会に加盟した。昭和六十一年には県連の理事長に鈴木高明を送り出し、国体という大事業を成功させた。六十二年からは市連独自の活動として、山辺町の玉虫沼に、数艇の少年少女用のヨットを浮かべ普及を計った。現在は残念ながら、内陸の中学、高校には以前からヨット部がなく、インターハイ等は無縁で国体出場も無く、県連への協力が主な活動となっている。今後は酒田市連などと連携して、ヨット教室や体験乗船などの企画を建てて行きたい。



山形市サッカー協会

会長 後藤三郎

当協会は、スポーツ少年団世代のサッカー競技の普及等を主な目的として、昭和四十八年より活動を行っております。

サッカー競技は、世界で最も盛んなスポーツと言われ、四年に一度開催されるワールドカップの日本開催や、なでしこジャパンの活躍による女子サッカーの普及、身近なところでは、Jリーグにおけるモンテディオ山形の活躍等、当協会設立時からサッカーを取り巻く環境が大きく変わってきています。

山形のサッカー少年・少女もテレビやモンテディオ山形のホームゲーム等を通じ、高いレベルのサッカーを見ることができるよう環境にあることで競技レベルも年々向上し、スポーツ少年団の他、近年は、クラブチームの活躍も目立ってきております。また、全国大会へつながる大会から、一部の地域だけの大会等、様々な大会が年間を通して開催されており、参加チームも、山形市近隣の市町村エリアを含む形となってきました。

山形市内の少年団を対象とする市スポーツ少年団総合大会は、当協会の大きな事業となっていますが、サッカー競技の普及と技術向上を目指し、今後は、少年団の運営や指導者、審判の育成等、サッカー好きな少年・少女がこれまで以上に競技に打ち込める環境の整備への取り組みも必要と考えております。

サッカー発祥の地、イギリスでは、「サッカーは少年を大人に、大人を紳士にする。」と言われています。当協会も、サッカーを通じ山形の子どもたちが、立派な人間・選手として成長することを願い、今後も活動を続けていきたいと思っています。



平成22年度 財団法人山形市体育協会表彰 受賞者名簿

(22年4月1日～23年3月31日まで)

■功 勞 賞

No.	推薦団体又は所属	氏 名	功 績
1	山形市陸上競技協会	山川 雄幸	永きに亘り、山形市陸上競技協会並びに山形マスターズ陸上競技連盟の要職を務められ、陸上競技の普及発展に貢献するとともに、S級公認審判員としてジュニア層の育成強化に尽力された。
2	山形市弓道連盟	西塚 胞喜	永きに亘り、山形市弓道連盟の要職を務められ、会の運営発展に貢献されるとともに、錬士として人材の育成と技術の向上に尽力され、自らも数々の全国大会で活躍された。
3	山形市スキー連盟	岩井 健一	永きに亘り、山形市スキー連盟の要職を務められ、各種競技大会や山形市民スキー教室の運営など、基礎スキー及び競技スキーの発展に尽力され、生涯スポーツとしてのスキーの普及発展に貢献された。
4	山形アマチュアボクシング協会	三浦 希仁	永きに亘り、山形県ボクシング競技の競技力向上と指導者の技術向上に貢献され、特に長年勤務された日本大学山形高等学校では優れた指導者として、青少年の健全育成に尽力された。
5	山形市バウンドテニス協会	尾原 忠夫	永きに亘り、山形市バウンドテニス協会の会長及び顧問を歴任され、バウンドテニス競技の普及発展に努め、技術の向上と選手の育成強化を図るとともに、自らも生涯スポーツの範を示している。

■敢 闘 賞〈一般〉個人

No.	推薦団体又は所属	氏 名	大 会 名	成績
1	山形市陸上競技協会	加藤 啓一	第31回全日本マスターズ陸上競技選手権大会 M60 2000m障害	優勝
2	山形市陸上競技協会	富樫 時子	第31回全日本マスターズ陸上競技選手権大会 W40 やり投	優勝
3	山形市陸上競技協会	磯部たまき	第31回全日本マスターズ陸上競技選手権大会 W35 800m	優勝
4	山形市陸上競技協会	石山真紀子	2010日本学生陸上競技個人選手権大会 女子3000m障害	優勝
5	山形市レスリング協会	太田 優	第58回全日本社会人レスリング選手権大会 マスターズA 120kg級	2位
6	山形市レスリング協会	大澤 健夫	第58回全日本社会人レスリング選手権大会 マスターズA 96kg級	優勝
7	山形市レスリング協会	塩野 剛志	第58回全日本社会人レスリング選手権大会 マスターズA 84kg級	優勝
8	山形市レスリング協会	長岡 知徳	第58回全日本社会人レスリング選手権大会 マスターズA 74kg級	2位
9	山形市レスリング協会	水戸部秀樹	第58回全日本社会人レスリング選手権大会 マスターズA 74kg級	3位
10	山形市レスリング協会	清水 一成	第58回全日本社会人レスリング選手権大会 マスターズB 66kg級	2位
11	山形市レスリング協会	鈴木 芳晴	第58回全日本社会人レスリング選手権大会 マスターズB 60kg級	3位
12	山形市レスリング協会	杉本 恵	平成22年度明治乳業杯全日本選抜レスリング 選手権大会	3位
13	山形市水泳連盟	出井久美子	第27回日本身体障害者水泳選手権大会 50mバタフライ (シニア)	2位
14	山形市バウンドテニス協会	大久保里衣子	第28回全日本バウンドテニス選手権大会 フリー女子 シングルの部	2位

■敢 闘 賞〈一般〉団体

No.	推薦団体又は所属	大 会 名	成績
1	山形銀行ライヤーズ (指導者) 山田かがり	第43回全日本実業団バスケットボール競技大会 第6回全日本社会人バスケットボール選手権大会 高松宮記念杯第43回全日本実業団バスケットボール選手権大会 菅野 恵子・北野 尚子・赤川 愛・難波 美奈・遠藤 真美・高橋 清香・仲内美由貴 中谷 歩・安井 彩・佐々木ゆみ・渡邊 千尋・勝倉 光希・青山 彩七	優勝
2	山形クラブ (指導者) 相原 隆	第58回全日本社会人レスリング選手権大会 男子クラブ対抗団体戦 三澤恵一郎・舩山 直樹・笹原 知喜	3位

■特 別 賞

No.	推薦団体又は所属	氏 名	大 会 名	成績
1	山形市バスケットボール協会	大神 雄子	第16回アジア競技大会2010広州 女子バスケットボール競技	3位
2	山形市立商業高等学校	山上 彩	第8回バレーボールアジアユース女子選手権大会	優勝
3	東北芸術工科大学	栗野幸智恵	広州2010アジアパラ競技大会 シットイングバレーボール女子	2位
4	日本大学	須藤 学	第9回世界大学レスリング選手権大会2010 男子フリースタイル55kg級	5位
5	山形市水泳連盟	長沼 敦	第16回アジア競技大会2010広州 男子水球競技	3位
6	山形市スケート協会	加藤 条治	第7回アジア冬季競技大会スピードスケート 男子500m	優勝
7	山形県立山形中央高等学校	小田 卓朗	2011世界ジュニアスピードスケート選手権大会 男子団体追い抜き	3位

■感 謝 状

No.	推薦団体又は所属	氏 名	功 績
1	山形市バスケットボール協会	細谷 壽守	永きに亘り、山形県及び山形市バスケットボール協会の要職を務められ、バスケットボール競技の普及発展に尽力されるとともに、熱い情熱と卓越した指導により、多大な実績を残された。

種 別	小 計				
功 勞 賞	5				
敢 闘 賞	個 人	団 体	指 導 者	候補者計	388
	小学生	66	125	10	
	中学生	24	99	9	
	高校生	6	15	2	
一 般	14	16	2	32	
特 別 賞	7				
感 謝 状	1				
合 計					401

※平成21年度の特別賞・功勞賞・感謝状
につきましては、当協会ホームページ
よりご覧下さい。

地区体育振興会巡り

第14回（第二地区）

第二地区体育振興会 会長 片桐 秀夫

第二地区には、奥羽本線を中心として東に十日町・香澄町・幸町・八日町・若葉町・西に五日町・上町・竈田・双葉町など、三ノ丸堀跡の名残りとどめた二十二の町区があります。市街地の拡大に伴い近年は、山形駅に近い環境のせいか、高層マンションの建設が相次ぎ、五日町踏切西のJRMマンションの建設とか、竈田地区の住宅建築などが、地区内の人口増につながっていると思われまふ。

本体育振興会では、百二十二年の伝統がある第二小学校と連携し、小学校PTA会長を歴代副会長とし、市体育指導員を含み、その他幹事として事務局を構成して、総会の議案書作成、行事の企画運営をしております。また、各町内会長と連携強化を図りながらの事業をやっております。

春夏にはソフトボール大会・バレーボール大会、秋に地区運動会、冬には三中体育館を借用しての男女混合ソフトバレーボール大会など、スポーツを楽しむ機会を設けています。昨年は二小体育館の新築に伴い、工事の関係で運動会の代わりに「グラウンドゴルフ」大会を行ったところ、参加者は八十名と集まり、来年度からは用具を整備し、年二回ぐらい開催出来る様、検討してみたいと計画中です。例年、十月には、西部公民館の文化祭の一環として二日間、たこ焼・そば・うどんなど販売提供として、地区民から安くて旨いと好評を得ております。

これからも、組織体制と連携の強化に努め、スポーツを通して地区民相互の親睦とお互いの健康増進を図り、地区の発展に努力する決意であります。

（第三地区）

第三地区体育振興会 会長 会田 善夫

市街地区部に位置する第三地区は、宮町、薬師町、銅町など二十三の町内会から構成され、地区内には護国神社や両所の宮を始めとした名所旧跡、そして地場産業である鋳物、打刃物など伝統産業も盛んな地区でもあります。スポーツ振興は昔から大変に盛んな地区で昭和三十九年にスタートした家庭バレーボール大会は現在も継続しております。今は中止となった市民運動会では十七年度には見事優勝、翌年度も連覇すべく練習を重ね準備するも雨天中止。そして運動会そのものの廃止となり最後の優勝地区となりました。

さて当振興会は昭和五十七年度に発足し、二十四年には創立三十周年を迎えようとしており、先輩諸氏の築きあげた伝統あるこの会を地区町内会長会や地区社協との連携・応援をいただいで活動しております。組織としては市体育指導委員、三小PTA、そして町内会から推せんされた委員等により役員会を構成し事業の企画実施を行っております。主な二十二年度の事業は五月には第二十七回ソフトボール大会、十月第十五回スポーツフェスタ、十一月には第四十五回ソフトバレー大会、そしてもっとも人気があり町区予選会からの選抜チームによる第十五回ボウリング大会の四事業を大きな柱として実施し、町内そして地区の親睦とコミュニケーションを図っております。また二月には総合型地域スポーツクラブ研究会を立ちあげその概要を学習し、今後は先進クラブの研究視察を行い、会として進むべき方向を話し合っていくことと

しています。今後ともスポーツを通して会則の目的である「地区ぐるみの健康と体力づくり並びに明るいまちづくり」を目指して活動を展開していく所存でございます。



（第四地区）

第四地区体育振興会 会長 佐藤 棟彦

第四地区は、緑町・六日町・七日町・旅籠町・相生町・大手町等の市の中心部に位置し二十四町区が集合し、市役所や諸官庁、山形銀行を始め多くの商業施設があります。然し、他の町と同様に、住民は郊外に移転し子供達も少なくなり、減少の一途であります。

当体育振興会は、第四小学校奨学会、地区町内会連合会とのコミュニケーションを基本に構成し、会を運営、諸行事を、開催しております。

春の総会を起点に、ソフトボール大会、グラウンドゴルフ大会、ボウリング大会等沢山の参加者を町区体育委員の方から集めて頂き、健康で元気な地区民との交流を図っております。特にソフトボールは山形市体育振興会連合会の主催する大会の常連であり、第一ブロックに四地区ありと自覚しております。

またグラウンドゴルフ、ボウリングには、高齢者の愛好者が多く毎回楽しみに参加して頂いており本当に有難いと思ひます。

秋のグラウンドゴルフ終了後の、いも煮会も好評で、年々参加者も増え、会後の企画にいかに関わるか場所の確保も難しくなりそうです。山形市にも是非グラウンドゴルフのユース作りをお願いしたいものです。

山形市の推奨する元気な山形を第四地区から発信すべく身心鍛え、スポーツを通し、老若男女が相互に親睦と健康増進の一助を荷って参りたいと思ひます。補助金の、増額も参加賞や景品の内容を、良くしていきたいので、是非お願いしたいと存じます。



市体育振興会の行事や山形市体協の行事のPRは不足していませんが、市報等にもっと掲載しては如何でしょう。

《山形市スポーツ少年団の紹介》

山形市スポーツ少年団は地域の中で、
限りない可能性を秘めた子供達の健全育成のために、
日々の活動を応援しています。



平成23年度の少年団本部の主な事業は、春と秋に体力測定・第26回山形市スポーツ少年団総合大会を夏季に7種目冬季にスキー大会を開催し実施します。この大会には山形霞城ライオンズクラブよりレプリカやメダル等のたくさんの寄贈品をいただいております。

9月10日に実施しましたが、昨年より行っております市内の登録団が一同に会し、馬見ヶ崎川河川敷ごみ拾いの地域奉仕活動を行っております。

また、種目ごとに全国大会の予選会や各種大会を開催して、競技力の向上を図るなど、青少年の健やかで逞しい成長を願っての活動を行っております。

昨年度より指導者の育成のため指導者連絡協議会を起ち上げ年2回（夏休み前・各種大会終了後）の講習研修会を開催し実施します。

山形市スポーツ少年団の登録状況は以下の通りです。

登録種目と登録団員数（小学生・中学生含む）

（平成23年7月末現在）

サッカー	642名	バレーボール	341名	軟式野球	574名	ミニバスケットボール	394名	剣道	138名
柔道	207名	スキー	37名	空手道	88名	卓球	32名	バドミントン	54名
ソフトテニス	48名	体操	9名	水球	32名	レスリング	20名	ボクシング	10名
スケート	9名	ソフトボール	26名	スポーツチャンバラ	7名	陸上	16名	アーチェリー	1名
カヌー	6名	チアリーディング	19名	複合団	20名	合計 登録団数 159団	登録団員数 2,730名		

～スポーツ少年団に関する疑問・質問等ございましたら、お気軽にお問合せ下さい。～

【問い合わせ先】山形市総合スポーツセンター内 山形市スポーツ少年団事務局 ☎023-625-2288

山形市体育協会スポーツクラブ 8/27 設立

総合型地域スポーツクラブとして山形市体育協会スポーツクラブが設立します。
設立に向けてクラブ会員の募集を開始します。

クラブの理念

市民が健康で笑顔あふれる豊かなスポーツライフをおくる
ことができるよう、誰もがいつでも参加できる、スポーツや
文化活動の場を創設してまいります。特に、青少年の健全育
成と競技力の向上を図るとともに、地域住民の自主的な社
会参加を促し、元気で活気ある「まちづくり」に寄与してま
いります。

理念に
基づく

クラブが展開する事業

- 子どもから高齢者までの健康づくり
- 子どもの健全育成
- 競技力の向上
- コミュニティの形成

総合型地域スポーツクラブ

ほなみふれあいスポーツクラブ

山形市の北西部に位置する金井地区は、人口一五、〇〇〇人の小学校、中学校が単一学区で、教育や地域活動に熱心な地域であり、嶋地区の開発による商業都市と既存の集落が混在している地域で、生涯スポーツも盛んな地域です。

毎年、体育振興会が中心となりフットボール大会、地区体育祭、バレーボール大会などを開催していますが、近年、地域世代間のバランスが崩れチームが成り立たない地域が出てきたこと、子ども会の大会なども同様であります。

また、競技種目の専門性を求める傾向が進んできたこと等、そこで、少年団に入っていない子ども達をどのようにサポートできるのか、大会運営での負担がかかり役員のなり手がいないなど、議論を重ね、十七年に二年間の準備期間を経て平成十九年二月、総合型地域スポーツクラブ「ほなみふれあいスポーツクラブ」が金井地区町内会、体育振興会などの協力をいただき、山形市で初のクラブ創設できました。

クラブの特性は小学生のスポーツ少年団に入っていない子ども達、シニア一般を対象に、既存クラブの活動分化を継続しながらスポーツ人口を増やすことをねらいとし、隙間狙いで勧めてきました。

また近年、女性の地域活動の場で

あった婦人会、若妻会等の女性団体組織が崩れてきたことなど、そこで、二十一年度には「文部科学省委託事業で総合型地域スポーツクラブを核とした活力ある地域づくり推進事業」で、女性のための参加型スポーツ教室を七名の女性スタッフで展開させていただきました。種目は、フラダンス、ピラテス、ウォーキングの三種目で現在継続しているのはフラダンスでウォーキングは歩く駅物語五〇万歩へ挑戦としてカードを発行し、地域の方には健康ウォーキングを口コミで案内しています。見守り隊にもなればと欲張っています。地域での新しい発見、女性の繊細なアンテナが地域を明るくする、人材発掘にもなったのでは、地域のスポーツクラブだから出来ると思う。

会員の反応は、

- ・ 子供さんたちの保護者から、朝起きが良くなった
- ・ 希望を持って活動に出て行く
- ・ 地域で会うと手を振って挨拶をしてくれる
- ・ 出会いがあり気軽に参加できる
- ・ 参加者それぞれが人生の指導者である

・ 体育振興会との連携が出来る
今後の課題

- ・ 文化サークルへの連携
- ・ サークル会員の確保（安定したクラブへ）
- ・ 指導者の確保

総合型地域スポーツクラブ22年度会員数

小学生		既存スポーツ少年団		既存スポーツ団体		
球技教室	60名	バスケ男子	19名	グランドゴルフ	2 団体	60名
ジュニアアスリート	24名	バスケ女子	15名	ソフトボール	3 団体	60名
中学生		サッカー	22名	バレーボール	2 団体	30名
ファミリーバスケット	10組	野 球	43名	野 球	1 団体	15名
シニアサークル		バレー男子	7名	ヨガサークル	1 団体	
パークゴルフ	20名	バレー女子	9名	健康体操サークル	1 団体	
ソフトボール	15名	柔 道	11名	そ の 他		
一 般		剣 道	5名			
フラフィットネス	25名	卓 球				
合 計	184名	合 計	131名	合 計		200名

金井地区のスポーツ人口は、週1回のスポーツ人口約500名が運動していることになります。そのほかにウォーキングなどを計算に入ると1カ月2,500名、一年間に約30,000人が金井地区に活性を与えていると思います。

総合型地域スポーツクラブが地域に果たす役割は大きいと思います。

粘強!!

がんばれ!! モンテディオ山形



山形市サッカー協会

会長 後藤 三郎

山形市トランポリン協会



©山形新聞社



より高く

より美しく

YAMAGATA CITY
TRAMPOLINE
ASSOCIATION

会 長 斎 藤 淳 一

理事長 佐 藤 房 子

山形市山岳連盟

会 長 會 田 茂 雄

理事長 富 樫 庄 一

事務局

〒990-0063

山形市山家町一丁目3番50号

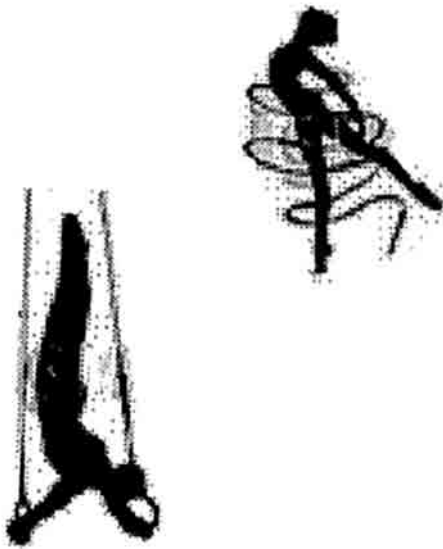
東海林 敬

TEL 632-2630

FAX 625-0235

健全な身体と心づくり

体操競技・新体操競技の普及、選手・指導者強化を行っています。



山形市体操協会

会 長 宇 野 正 春

理事長 柳 川 郁 生

山形市柔道連盟

会 長 二 戸 昭 夫

理事長 高 橋 喜久雄

◎当連盟所属「スポーツ少年団」のご紹介

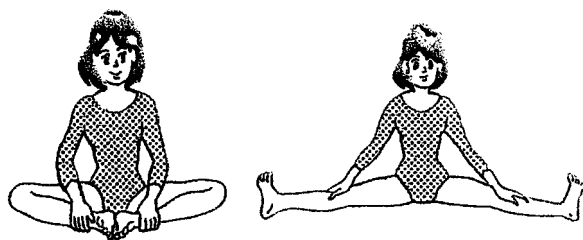
柔道スポーツ少年団 大 道 館	本 沢 柔道スポーツ少年団
霞 城 柔道スポーツ少年団	高 橋 道 場
西部道場 スポーツ少年団	山形大学医学部 スポーツクラブ
ほ な み スポーツ少年団	鈴 川 柔道スポーツ少年団
南 沼 原 柔道スポーツ少年団	立 谷 川 柔道練成会
べにばな 柔道スポーツ少年団	順不同 11団体



【問合せ先】 山形市柔道連盟事務局 縄野一史まで
TEL 090-8505-8908

若さを保つ健康体操

「真向法」



社団法人 真向法協会

山形真向法協会

〒990-0822 山形市下条町4-1-6
(電話 023-644-6462 Fax共)

山形市少林寺拳法協会

会 長 大 宮 常 博

練習日程：木曜日 午後 7:30 ～午後 9:00

場 所：山形県武道館3F

(日本大学山形高等学校と山形大学でも行っています。)

初心者 大歓迎

佐藤 携帯 090-9634-7898

管理施設紹介

※沼の辺体育館、山形市野球場は受付業務のみ

山形市総合スポーツセンター

住 所 落合町1番地
電 話 **625-2288**
開放時間 9:00～21:00
休場日 月曜日
※但し、月曜日が祝祭日の場合翌日が休場となります。年末年始、12月28日から1月4日まで

山形県体育館・武道館(合宿所)

住 所 霞城町1番2号
電 話 **644-5656**
休場日 第3月曜日
※但し、7月、8月、平成23年3月の休場日は下記のとおりとなります。
7月20日(火)・8月23日(月)・3月22日(火)
開放時間 9:00～21:00

山形市福祉体育館

住 所 小白川町2-3-33
電 話 **635-1771**
開放時間 9:00～21:00
休場日 月曜日
※但し、月曜日が祝祭日の場合翌日が休場となります。年末年始、12月28日から1月4日まで

山形市南部体育館

住 所 小荷駄町7-110
電 話 **641-6705**
開放時間 9:00～21:00
休場日 月曜日
※但し、月曜日が祝祭日の場合翌日が休場となります。年末年始、12月28日から1月4日まで

山形市江南体育館

住 所 江南1-1-27
電 話 **684-4296**
開放時間 9:00～21:00
休場日 月曜日
※但し、月曜日が祝祭日の場合翌日が休場となります。年末年始、12月28日から1月4日まで

山形市北市民プール

住 所 桧町3-10-1
電 話 **684-8265**
開放期間 7月～8月
開放時間 10:00～18:00
休場日 開放期間内無休

山形市みなみ市民プール(屋外)

住 所 南一番町8-5
電 話 **622-4990**
開放期間 7月～8月
開放時間 10:00～18:00
休場日 開放期間内無休

流通センター野球場

住 所 流通センター2-1
電 話 **645-4452** (野球場)
開放期間 4月～11月
※グラウンド状況により変更があります。
開放時間 9:00～21:00

山形市ソフトボール場

住 所 霞城町1番地内(霞城公園内)
電 話 **645-4452** (野球場)
開放期間 4月～11月
開放時間 6:00～19:00

西部運動広場

住 所 沼木字新田948
電 話 **645-4452** (野球場)
開放期間 4月～11月
開放時間 8:00～19:00

立谷川運動広場

住 所 立谷川2-959
電 話 **645-4452** (野球場)
開放期間 4月～11月
開放時間 6:00～19:00

鋳物町運動広場

住 所 鋳物町24
電 話 **645-4452** (野球場)
開放期間 4月～11月
開放時間 6:00～19:00

流通センター庭球場

住 所 流通センター4-2
電 話 **625-2630** (スポーツセンターテニスコート事務室)
開放期間 4月～11月
開放時間 6:00～21:00
※曜日や月毎に時間が変更になりますのでお問い合わせ下さい。

鋳物町庭球場

住 所 鋳物町24
電 話 **625-2630** (スポーツセンターテニスコート事務室)
開放期間 4月～11月
開放時間 6:00～21:00

西部庭球場

住 所 沼木字新田948
電 話 **625-2630** (スポーツセンターテニスコート事務室)
開放期間 4月～11月
開放時間 6:00～21:00
※曜日や月毎に時間が変更になりますのでお問い合わせ下さい。

山形市陸上競技場

住 所 薬師町2-22-72
電 話 **641-1956**
開放期間 5月～11月 ※フィールド状況により変更があります。
開放曜日 金曜日・土曜日・日曜日
開放時間 9:00～21:00
休場日 月曜日～木曜日(養生日・保守点検日)

山形市弓道場

住 所 霞城町1-6 (霞城公園内)
電 話 **645-1106**

山形市野球場

住 所 霞城町1-5 (霞城公園内)
電 話 **645-4452**
開放期間 4月～11月
※球場グラウンド状況により変更があります。
開放時間 6:00～21:00

山形市沼の辺体育館

住 所 沼の辺町4-33
電 話 **625-2288** (山形市総合スポーツセンター)
開放時間 9:00～21:00
休場日 月毎に変動しますのでお問い合わせください。

山形市体育協会 ホームページ紹介

山形市体育協会では PC版ホームページとモバイル版（携帯用）ホームページがあります。

PC版ホームページは全てのコンテンツをご覧頂けますが、モバイル版（携帯用）ホームページは、容量等でご覧いただけないコンテンツもございますのでご了承ください。

当協会では、様々なスポーツスクール開催情報や管理施設情報もご覧いただけますので是非ご覧ください。



詳しくは、当協会ホームページをご覧ください。

PC版 URL <http://yamagatasi-taikyou.jp/>

携帯版 URL <http://www.yamagatasi-taikyou.jp/m/>

携帯ホームページのQRコードです。
是非ご利用下さい。



山形市体育協会

検索

※インターネットで検索項目に『山形市体育協会』と入力してご覧下さい。

平成23・24年度 財団法人山形市体育協会

役・員・名・簿

名誉会長	市川昭男								
会長	早坂孝								
副会長	高野修司	須貝憲明							
専務理事	長谷川博明								
常務理事	樋口孝司								
理事	吉田吉彌	小林正幸	諸橋哲郎	吉田昇					
	阿部浩三郎	早坂豊	武井寛	澁谷邦彌					
	安部弘行	大貫義人	鈴木芳子	梶原					
	加藤昌宏	長沼千歳	逸見良昭						
監事	植村義弘	城戸口庄悦							

『躍動』へのご意見・ご感想をメールにて受け付けております。
右記のアドレスへお送り下さい。

info@yamagatasi-taikyou.jp

躍動 第18号 2011 NOVEMBER

[発行] 財団法人山形市体育協会
[編集] 山形市体育協会事務局
[事務局] 〒990-2477 山形市長苗代61番地 山形市スポーツ会館内 TEL 023-647-4175 FAX 023-645-5595
[ホームページ] <http://yamagatasi-taikyou.jp/> [印刷] (株)大風印刷

管理施設

山形市総合スポーツセンター	〒990-0075	山形市落合町1番地	TEL. 023-625-2288	FAX. 023-625-2285
山形県体育館・武道館	〒990-0826	山形市霞城町1番2号	TEL. 023-644-5656	FAX. 023-644-5655
福祉体育館	〒990-0021	山形市小白川町2-3-33	TEL. 023-635-1771	FAX. 023-635-1771
南部体育館	〒990-0035	山形市小荷駄町7-110	TEL. 023-641-6705	
江南体育館	〒990-0863	山形市江南1-1-27	TEL. 023-684-4296	
沼の辺体育館	〒990-0007	山形市沼の辺町4-33	TEL. 023-625-2288	(市総合スポーツセンター)